

3R で循環型社会へ Vol.3

環境にやさしくらしてどんなこと？
私たちができることがあるの？

私たちは便利で快適な生活をするために、たくさんのモノをつくり、使い、捨てています。そして、このようなくらしを続けることでごみが増え続けているし、地球の気候がだんだん変わっていく原因のひとつになっています（地球温暖化）。

このため、ごみになるものは買わない・もらわない、モノを大事に使う、ルールを守ってきっちりと分別するなど、みんなが少しずつ工夫をして「環境にやさしくらし」に取り組むことが必要です。そうすれば、ごみが減り、また、ごみを貴重な資源として何回も大切に使うことができる「循環型社会」ができるのです。

循環型社会をつくるのは私たち一人ひとりの役目です。誰かがやればいいのではなく、まず、自分でできることはないか考えてみましょう。そして、できるところから始めてみませんか！

環境シリーズ
はじめなきや
Part 111

◆環境課
☎ 587 - 6003
FAX 587 - 3834

グリーンコンシューマー

くらしの中で3R に取り組むには、買い物のときに気を付けることがいっぱい。環境のことを考えて買い物をしたり、生活している人のことを「グリーンコンシューマー」と呼びます。

まずは買う前に、本当に必要かどうか考えることが大切です。そして買うときは、できるだけ環境にやさしい商品を選びます。私たちが買い物で商品を選んだり、お店を選んだりすることは、その商品やお店を応援することにもなるので、環境にやさしい商品やお店を増やすきっかけになるのです。

私たち



「環境にやさしいものを
買おう」

お店



「こんなに売れるなら、
もっと環境にやさしい
ものを置かなきゃ」

メーカー



「がんばって、環境にや
さしいものをたくさん
作ろう」

グリーンコンシューマー 4つの基本

- (1) 買う前に、本当に必要かどうか考えよう
- (2) 環境にやさしいモノを選ぼう
- (3) 環境にやさしい企業から買おう
- (4) 環境情報をよく見て買おう

参考資料：グリーン購入ネットワーク（GPN）

毎月第4土曜は
廃食油回収の日

12月28日午前10時～正午

回収会場：市役所別館横電話ボックス付近
回収物：廃食油、牛乳パック、アルミ缶
問環境課☎ 587 - 6003、エコロジーマー
ケットやすの会・増村☎ 586 - 1441

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

(111)



野洲川北流堤防の決壊現場・1953 (昭和28) 年
(写真提供／辻川信義氏)



野洲川放水路・1979 (昭和54) 年頃
(写真提供／藤村和夫氏)

しかし、中間的意見の住民らによるあっせんなどによって話し合いがつき、1971 (昭和46) 年から工事は開始されました。こ

の計画は旧守山町新庄の川辺全戸、小浜の2戸が移転し、かつ広汎な田畑が放水路用地となることなどから、反対運動が展開されました。

しかし、中間的意見の住民らによるあっせんなどによって話し合いがつき、1971 (昭和46) 年から工事は開始されました。こ

(博物館学芸員 齊藤慶二)

策定されました。その計画は、二川に囲まれた三角洲(中洲)の中間に、長さ約7km、川幅約330mの放水路を建設し、野洲川を一本化するというものです。この計画は旧守山町新庄の川辺全戸、小浜の2戸が移転し、かつ広汎な田畑が放水路用地となることなどから、反対運動が展開されました。

工事には8年の歳月と約200億円の費用がかけられ、1979 (昭和54) 年6月2日に放水路が通水します。1981 (昭和56) 年5月には南北流の締め切りが完了し、改修工事は終了しました。今日の平穏な生活の背景には、郷土に暮らした先人たちのためめ努力の歴史があったことを、決して忘れてはならないと思います。

野洲川の大洪水と大改修

9月15日からの台風18号の影響によって、「野洲川下流洪水注意報」が発表されたことは記憶に新しいと思われる。幸いにして氾濫などの大きな被害はなかったようですが、かつての野洲川は水害が頻繁に起こる暴れ川として知られていました。

現在の野洲川下流は、1979 (昭和54) 年に通水した放水路となります。それ以前は、平地より河床が高い天井川で、河口から約5km地点の竹生周辺で南北流の二川

にわかれ、広大な三角洲(中洲)を形成していました。

文献記録をひも解くと、1537 (天文6) 年から、放水路が通水した1979 (昭和54) 年までの442年間に、水害は46回も起こっていたことがわかります。これは、約10年に1回の割合で水害が発生していたこととなります。

とりわけ、大きな洪水の一つは、今から60年前の1953 (昭和28) 年9月に起こった野洲川大洪水です。この洪水は、台風13号によっ

て起こり、9月25日の午後11時頃には六条地先の野洲川北流右岸の堤防が195mに渡って決壊しました。これにより、死者3人、重傷者17人、流出・半壊家屋1713戸、田畑の流出・埋没地約500ヘクタール、冠水地約300ヘクタールという甚大な被害が発生しました。また、同時刻頃には旧守山町(現・守山市)今浜地先の堤防が決壊し、翌26日午前0時20分にも笠原地先が決壊しています。

これを機に、水害解消を望む地元住民の願いが高まり、1963 (昭和38) 年に野洲川大改修の計画が建設省(現・国土交通省)によって

【休館日】月曜日(12月23日は開館)、12月24日(火)・28日(土)～1月4日(土)※市民は入館無料

◆常設展示／12月27日(金)まで

◆友の会歴史入門講座③／「近代滋賀県の神仏分離」12月12日(木)午後2時～4時
講師…池田宏さん(滋賀県立図書館)／資料代…300円／事前申し込み不要

◆しめ縄作り教室／12月21日(土)、午前10時30分～正午 主催…博物館友の会／材料代…500円／先着15人

※12月6日(金)午前9時～19日(木)午後5時までに電話にて事前申し込み要

